

高等学校教育改革実行計画の策定に向けた取組について

【要旨】

文部科学省が令和8年2月に公表した「高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)～2040年に向けた「N-E.X.T.(ネクスト)ハイスクール構想」～」を踏まえ、令和8年度中に高等学校教育改革実行計画を策定しようとするもの。

1 グランドデザインについて

- AIやデジタル技術の発展、少子高齢化や人口減少が進む2040年を見据え、社会変化に対応する高校教育を実現するための国全体としての共通ビジョン。
- 3つの視点を重視。**視点1** AIに代替されない能力や個性の伸長、**視点2** 経済・社会の発展を支える人材育成、**視点3** 教育機会・アクセスの確保
- 私立高校の授業料支援の拡充に伴い公立高校進学者数の減少が懸念されることから、公立高校への支援の拡充が構想の中核。
- グランドデザインを踏まえ、都道府県が「高等学校教育改革実行計画」を策定し、国が交付金等により支援することを検討(R9予算編成過程で検討)。

2 実行計画について

- 令和8年度中に実行計画を策定した都道府県に対し、計画に位置付ける取組を対象に交付金を措置。
- 首長や関係部局、大学、市町村、地域の関係者や産業界と連携・協働し、総合教育会議等を活用するなど広く議論することが重要。
- 【主な記載内容】
 - ・ 計画期間(2040年に向けた改革の第一段階とし、3～5年程度と明記)
 - ・ 高校教育の現状と課題
 - ・ 改革の実現に向けた施策(専門高校の機能強化・高度化、普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化、地理的アクセス・多様な学びの確保)
 - ・ 学校運営の改善、教育環境・教師を取り巻く環境の整備(働き方改革、教員研修、入学者選抜の改善等)
 - ・ 計画の推進(推進体制、数値目標、工程表等)

3 今後のスケジュール

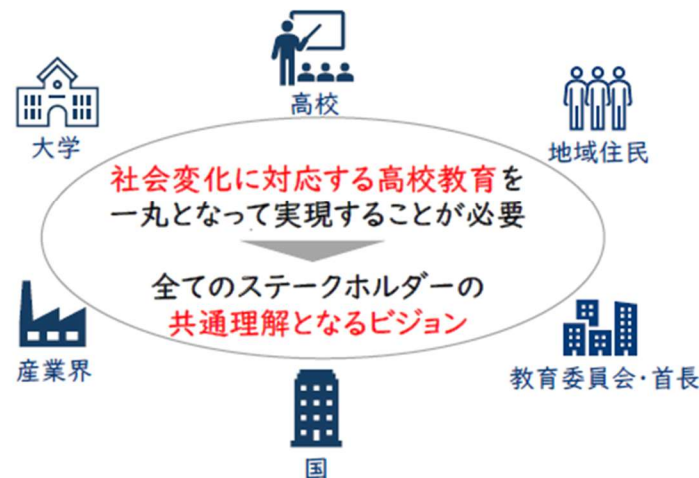
時 期	概 要
令和8年7月～	関係各課・高校関係者意見照会
9月	骨子作成
9月～	産業団体等意見照会
11月	素案作成
12月	令和8年度第2回県教育振興基本対策審議会
令和9年1月	令和8年度第2回総合教育会議
2月	最終案作成
3月15日	教育委員会定例会(策定)

高校教育改革に関する基本方針(グランドデザイン)【概要】 ～2040年に向けた「N-E.X.T.(ネクスト)ハイスクール構想」～

New Education, New Excellence, New Transformation of High Schools

1. グランドデザインの背景・必要性

- ✓ AIの実装などデジタル技術の目まぐるしい発展
2040年には、**少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化**が一層深刻化
→現在の人材供給トレンドが続けば、**労働力需給ギャップが発生**
(事務職は余剰、**AI・ロボット関係、いわゆる理系人材は不足**)
- ✓ 将来を正確に予測することは難しく、どのような未来が訪れるか分からない
→生徒それぞれの**多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現**を支え、**生徒の可能性を広げ能力を伸ばす**
→全ての高校生が**家庭の経済状況等に左右されることなく、希望する大学等への進学や就職等をし、それが個人の幸福につながり、ひいては、我が国の経済・社会の基盤を強いものとしていくことにつながる**



2. 高校改革の方向性～2040年に向けた高校の姿～

視点1 不確実な時代を自立して生きていく
主権者として、AIに代替されない能力や個性の伸長

-  **学びの在り方の転換
(New Transformation)**
- ✓ リアルとデジタルの良さを組み合わせつつ、**「好き」を育み、「得意」を伸ばす機会を確保**し、生徒の実態を踏まえた柔軟な教育課程の実現
 - ✓ スクール・ミッション、**スクール・ポリシー**を踏まえた**教育活動の改善、公表**
 - ✓ **高校教育と一貫した大学教育改革**(主体的・自律的な学修のための環境構築、出口における質保証等)

視点2 我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成

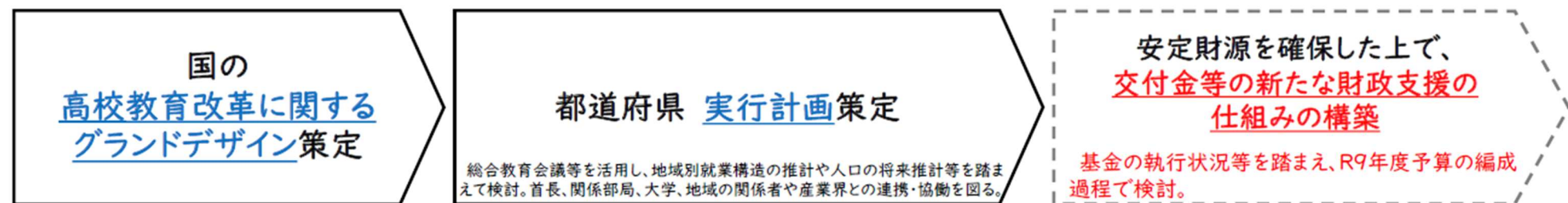
-  **最先端を学ぶ高校の特色化・魅力化
(New Excellence)**
- ✓ **探究・文理横断・実践的な学び、STEAM教育、産業界と協働した専門高校の学びの充実**
➔ **理数・文系的素養やAIを使いこなす力を身に付け、社会で活躍するロールモデルを体感**
 - ✓ 各高校の**特色化・魅力化**
➔ **学科構成の見直し、専門高校の機能強化・高度化、グローバル人材の育成**
 - ➔ **「普通科」の在り方の転換、即戦力の人材と進学を見据えた高度専門職人材の育成**

視点3 一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保

-  **学ぶ機会・アクセスの確保
(New Education)**
- ✓ **全国どこにいても多様で質の高い学びを保障**し、地方の生徒はもとより誰一人取り残されず、全ての生徒の可能性を最大限引き出す
(**地理的アクセスの確保**、都道府県の実情等に応じた**学校配置・規模の適正化**、小規模校を含む**遠隔授業等**の推進)
 - ✓ 通信制高校の**教育の質の確保・向上**
 - ✓ **不登校生徒への学習支援、特別支援教育や日本語指導が必要な生徒への教育の充実**

3つの視点を重視しながら、更なる高校改革を進め、N-E.X.T.ハイスクール構想を実現する。
高校から大学・大学院に至るまでの一貫した改革により、強い経済や地域社会の基盤となる人材を育成する。

3. N-E.X.T.ハイスクール構想の中核となる高校支援



※交付金等の構築に先立ち、高校教育改革のための基金を都道府県に造成し、N-E.X.T.ハイスクール構想の実現のために、パイロットケースとして先導的な学びの在り方を構築する高校（改革先導拠点）を創設。

新しい学校のイメージや取組例

専門高校の機能強化・高度化 （アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成等） 	普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化 （文理の双方の素養を有する人材の育成等） 	地理的アクセス・多様な学びの確保 
（学校のイメージ） 地域発のイノベーションを興すことのできる人材等の育成を目指し、理論と実践の往還によるカリキュラムの実施等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校 （取組例） ✓ ビジネス経験の必修化 ✓ ものづくりから流通まで一体的な学びの実践 ✓ 「高校版企業寄附講座」等の実践やそれを前提とした進学・就職機会の確保	（学校のイメージ） 文理にとらわれない幅広い教養等を備えた新しい価値を創造する人材等の育成を目指し、実社会につながる生きた授業の実践等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校 （取組例） ✓ 実社会につながる生きた授業の実践 ✓ 高度実験環境を核とする理数探究拠点整備 ✓ 探究型授業研修の充実による教師のスキル向上、探究伴走支援専門チームの構築	（学校のイメージ） 学校の枠を超えて多様な人々と協働し、社会の課題を主体的に探究・解決できる人材等の育成を目指し、柔軟で質の高い学びの実践等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校 （取組例） ✓ 学校間連携や遠隔授業等を活用した教育機会の確保 ✓ 学校と地域の関係機関の連携・協働の強化による学習環境の提供 ✓ 他の学校種との連携の充実

これらの取組の一環として、留学支援を含むグローバル人材育成支援や、学校と地域が連携・協働した学力向上・学習支援などについて取り組む。

2040年までに達成を目指す目標

【職業教育の高度化・魅力の強化関係】	【普通科の在り方の転換・魅力の強化関係】	【多様な学びの確保関係】
・地域の産業界等と連携・協働した取組を行う専門高校：100% ・少子化傾向においても専門高校の生徒数を現在と同水準	・文理横断的な学びに取り組む普通科高校：100% ・普通科でいわゆる文系と理系の生徒の割合：同程度	・学びの状況に関する生徒の肯定的な評価の向上 ・高校卒業段階の進路未決定者の割合の半減

高等学校等教育改革促進事業に係る採択結果及び今後の取組について

【要旨】

文部科学省の標記事業に対し、5月15日付で申請した先導拠点校4校のうち、**2校（黒沢尻工業、盛岡農業）**に係る事業が6月30日に採択されており、**全国では、申請179校中75校が採択（採択率41.8%）**となっている。今回不採択となった2校（盛岡第三、杜陵）については、事業内容を改めて精査し、**8月中旬に再申請**する予定である。

1 公募申請の状況及び採択結果

類型	学校名	申請額 (百万円)	主な事業内容	採択結果
【類型1】アドバンスト・エッセンシャルワーカー	黒沢尻工業	2, 9 3 2	・半導体実習施設整備 ・小型半導体製造装置整備	採択
	盛岡農業	8 1 3	・スマートグリーンハウス整備 ・スマート農業機械整備	採択
【類型2】理数系人材	盛岡第三	1, 6 1 4	・STEAM 教育拠点新棟整備 ・高度探究学習設備整備	不採択
【類型3】多様な学び	杜陵	8 8 1	・遠隔配信拠点施設整備 ・遠隔配信、受信機材整備	不採択
採択額計		3, 7 4 5	※実際の事業費については、今後調整される見込み	

2 今後のスケジュール

8月中旬頃 再申請期限（盛岡第三、杜陵について申請）
9月中旬頃 再申請にかかる採択発表

【参考】全国の採択状況

(1) 採択校数別の状況

採択校数	都道府県数	都道府県名
4	3	山梨県、静岡県、徳島県
3	8	福島県、群馬県、千葉県、長崎県 など
2	12	北海道、 岩手県 、富山県、島根県 など
1	15	宮城県、秋田県、山形県、大阪府 など
0	9	青森県、東京都、神奈川県、愛知県 など
計	75	47

(2) 全国の採択率

申請校数	採択校数	採択率
179	75	41.8%

※各都道府県の申請校数は3又は4です。（各都道府県別の申請校数は不明）